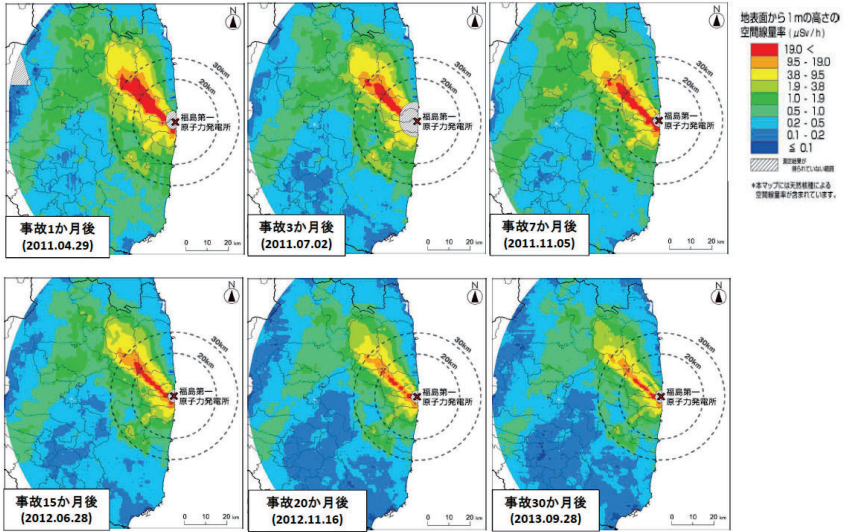


空間線量率の
時空間分布

空間線量率の推移 (80km圏内)



μSv/h : マイクロシーベルト/時

原子力規制庁発表 平成25年12月25日

これまで放射性物質による影響の変化を確認するため、福島第一原子力発電所から80km圏内について継続的に航空機モニタリングが実施され、空間線量率の分布状況、放射性セシウム沈着状況が調査されてきました。また、80km圏外についても航空機モニタリングにより、放射性物質の影響把握が行われています。

80km圏内における空間線量率は、線量が高い地域（福島第一原子力発電所から北西方向に伸びる領域）も、低い地域も、年月の経過とともに下がってきていることが確認されました。

本資料への収録日：2014年3月31日

本情報は事故後1か月後（2011年）～30か月後（2013年）の情報です。

関連Q&A

- ・1章 QA25 空間放射線量率は今も福島原発事故が起こる前の数値まで下がっていないのに、事故前と同じ生活をしていいのですか
- ・3章 QA1 モニタリングの実施状況について教えてください
- ・3章 QA2 セシウムをはじめとする放射性物質の汚染状況の調査はどうなっていますか
- ・3章 QA4 物理減衰やウエザリング効果は、どの程度だと考えられるのですか
- ・3章 QA7 航空機モニタリングでは、何を測定しているのですか